

平成 26 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日に、当院で 未破裂脳動静脈奇形に対する手術を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：未破裂脳動静脈奇形の手術適応と予後に関する全国実態調査

研究期間：実施承認日～令和 2 年 6 月 30 日

研究代表者：奈良県立医科大学医学部脳神経外科 教授 中瀬裕之

研究責任者：筑波大学附属病院 脳卒中科 教授 松丸祐司

筑波大学附属病院では、上記課題名の研究に協力いたします。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

① 研究の目的

脳動静脈奇形は 10～30 歳代に発症することが多く若年者の頭蓋内出血の原因として最多の疾患です。年間破裂率は 1.7～2.2%ですが、発症すると生命や脳の機能に深刻な影響を及ぼす恐ろしい疾患です。

欧米での研究では予防的治療の効果が明らかにされていませんが、近年の医学の進歩によって手術の安全性が各段に向上してきています。現在の本邦における未破裂脳動静脈奇形の治療成績について調査を行い、これから同様の疾患の治療を受ける患者さん方にとって有用な情報を得る事を目的とします。

② 研究対象者

平成 26 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日に、当院で未破裂脳動静脈奇形の手術を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020 年 6 月 30 日まで

④ 研究の方法

本研究では、診療録を利用し、未破裂脳動静脈奇形に対して手術加療を行った患者さんの背景、臨床症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰等を調査します。この上で、手術の方法、神経学的転帰、周術期合併症を主に検討します。

⑤ 試料・情報の項目

検査データ、診療記録

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

この研究は本邦の脳神経外科を標榜し脳神経外科手術を行っている施設から診療録データの提供を受けて奈良県立医科大学脳神経外科学講座が実施いたします。診療録データは誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）データをオンライン登録いたします。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

奈良県立医科大学脳神経外科講座 教授 中瀬裕之

⑧ 研究機関名および研究責任者名

本邦の脳神経外科を標榜し脳神経外科手術を行っている施設

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：脳神経外科 講師 伊藤 嘉朗

Tel：029-853-3220(平日9：00-17：00)